

セル-ストロングシリーズ ビール酵母細胞壁入り元肥による 高温障害に対する効果

撮影日：平成28年1月7日



元肥：セル区



元肥：他資材区

撮影日：平成28年1月7日



他資材区：葉先枯れ



他資材区

生産者コメント

・平成27年度は高温期が続いたため、他資材区では葉先枯れや生育のばらつき、茎部の軟弱徒長、二次肥大成長等の高温障害が多く見られる。よって収穫が見込めないような状態である。

・セル区の圃場はマルチ栽培にも関わらず、軟弱徒長がほとんど見られず、高温障害を克服できている。ビール酵母細胞壁による微細根形成によりチツソ過多が軽減され、生育・葉色も良かった。